TAKE FREE
ご自由にお持ち帰りください

地域と病院をむすぶネットワーク情報誌

みやのわ

82
2024.1
WINTER

特集

冬場の感染症

～感染対策チーム ICTの活動～

感染対策チーム ICT

- リレーエッセイ　院長　野間 重孝
- ご存知ですか？　訪問看護ステーションほっと
- みやのわ情報局　つなサポ相談会を実施しました！

特集

冬場の感染症

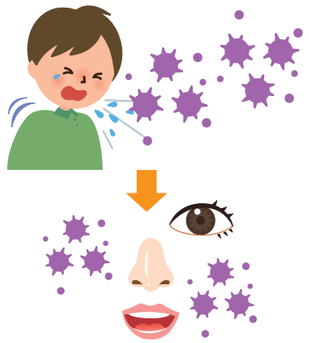
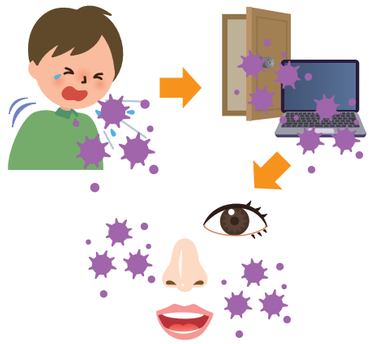
～感染対策チーム－ICTの活動～

冬に多くなる感染症に、インフルエンザやノロウイルスによる感染性腸炎などがあります。新型コロナウイルスの流行による外出の自粛やマスクの着用でここ3年ほどは激減していましたが、コロナ禍前の生活が戻ってきたことで、再度増えることが予想されます。

インフルエンザについて

咳や会話などで出た飛沫で感染するので、特に咳がある人はマスクをすると、周りに感染させるリスクを下げられます。また、ウイルスがドアノブ、ボタンなどの表面に付き、それに触れた手を介して目鼻口の粘膜から感染することがあるので、手洗いや消毒も感染予防に有効です。治療薬はタミフルなどがあり、発症から48時間以内に服薬することで症状が出る期間の短縮と合併症の防止が期待できます。服用してから熱が下がるまでは数日かかることもあるのでご注意ください。ワクチン接種は感染を完全には防げませんが、ある程度は予防でき、重症化を予防する効果は高いと言われています。高齢の方や持病がある方、もしくはそれらの人と同居している方などはワクチンの接種をご検討ください。

インフルエンザの感染経路と予防

感染経路	予　防
 感染者の咳などから空気中に出たウイルスが直接、目・鼻・口の粘膜に付いて感染する	マスク（感染者がつけた方が効果的）
 感染者の咳などから空気中に出たウイルスが直接、目・鼻・口の粘膜に付いて感染する	顔を触らない、手洗い、アルコール消毒

ノロウイルスによる感染性腸炎

冬場に流行し、生ガキからの食中毒でも有名です。感染力が強く、針の先に乗る程の量で感染します。症状は、まず突然の激しい吐き気と嘔吐が数時間続き、その後下痢や発熱が出現し、2～3日で徐々に改善します。高齢者や乳幼児は、脱水症や吐物による窒息にも注意が必要です。検査は3歳未満、65歳以上、癌や免疫不全がある、または臓器移植後の方以外は保険適応が無いため、通常の診断は症状や病歴で行います。特別な治療薬は無く、脱水症状がある場合には点滴で水分補給を行うことがあります。食べ物や手から口に入ることで感染するので、一番の予防は手洗いです。アルコール消毒が効きにくいので、水でしっかり洗い流すことが重要です。

【参考】
国立感染症研究所
「感染症発生動向調査週報」

ノロウイルスによる感染性腸炎の感染経路と予防

感染経路	●患者の便や吐物から出たウイルスが食べ物に付き、口に入って感染する ●患者の便や吐物から出たウイルスがドアノブなどの触れるものを介して、手から口に入って感染する
予　防	●手洗い（アルコール消毒は効きにくい） ●生ガキなどに注意 ●ワクチンや特別な治療薬は無い

感染対策チーム ICTとは？

感染対策チームICT（Infection Control Team）とは、医師、看護師、薬剤師及び検査技師からなる、組織横断的に感染制御活動をするチームです。

当院のICTメンバーはそれぞれ感染制御医師、感染管理認定看護師、感染制御専門薬剤師、感染制御専門認定臨床微生物検査技師、といった専門資格を有しており、それぞれの専門性を活かして新型コロナウイルス、インフルエンザ、多剤耐性菌など、様々な病原体から患者さんや職員を守る活動をしています。

どんな活動をしているの？

当院は日々、様々な感染症の診療にあたっており、その中には新型コロナウイルスやインフルエンザウイルス、多剤耐性菌など、感染力が強かったり感染が広まる弊害が大きかったりする病原体も含まれます。そのような病原体が広まらないためにどうすればよいか、ICTではスタッフからの報告・相談を受けたり、能動的に病原体の発生状況をモニタリングしたりして対策を行っています。

また、定期的に院内を巡回し、手袋・マスク・ガウンなどを職員が適切に使用できているか、手洗い及び手指消毒が適切に行えているなどをチェックし、必要に応じて指導・介入などを行っています。

その他、院内感染対策マニュアルの作成・更新、医療機器の洗浄や消毒・感染性廃棄物の処理などが適切にできているかのチェック、職員向けの定期的な教育講演会、職員の健康管理、他の医療機関との定期的な情報交換、全国サーベイランス※への参加など、活動内容は多岐にわたります。

※感染症の発生状況や変化を継続的に監視することで感染症の動向を調査すること。

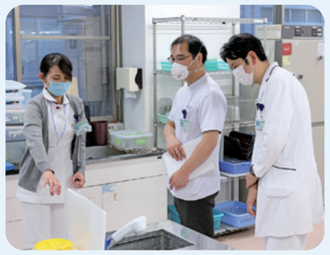
感染症に関わる その他の院内チーム

同じく感染症に関わるチームとして、抗菌薬適正使用支援チームAST（Antimicrobial Stewardship Team）があります。抗菌薬（抗生物質）が適切に使用されるように監視・支援などを行っており、具体的な抗菌薬の選択、治療期間の設定や検査を医師に提案させていただくなど、治療に密接に関わる活動が中心です。

感染対策チームICTの皆さん

“感染対策チームICT”活動中の様子

カンファランス



院内ラウンド

職員に対する指導

感染対策委員会

職員へのワクチン接種

感染対策講演会

Check！

患者さん・ご家族にお願いしたいこと

【入院について】

病状によっては個室入院をお願いしています。
ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

【面会について】

感染症の流行状況に応じて制限させていただく場合があります。現在の状況については、当院HPをご参考ください。

「ご来院の方へ」
済生会宇都宮病院HP

総合診療科　感染制御医師

岡部　太郎

おかべ・たろう

アルコール消毒や手洗い、マスクの着用など、感染対策は面倒と思われがちなうえに、菌やウイルスなどは目に見えず、実感もわきにくいと思います。感染対策チームでは、どのような感染対策が最終的に患者さんの利益になるかを考え活動していきたいと考えておりますので、ご協力の程どうぞよろしくお願いいたします。

医療機器めぐり 第36回

Medical equipment

診療放射線技術科

シーメンス社製
血管撮影装置
ARTIS icono D-Spin

はじめに

当院では、2023年9月、12月に血管撮影装置ARTIS icono D-Spinを導入しました。血管撮影装置とはどのような装置なのか、新しく備わった機能はどういったものなのか、当院の血管撮影室の様子とあわせてご紹介いたします。

血管撮影装置とは

血管撮影装置は、造影剤という薬を注入しながら目的の部位にX線を照射することで、血管の様子をリアルタイムに映し出すことができます。血管撮影装置を使用するカテーテル検査は、心臓や脳、腹部領域といった血管の病気が増加する中で普及が進んでいます。カテーテル検査とは、カテーテルという細い管を手首や肘、足の付け根などの血管から入れて、目的とする場所まで進めていき、造影剤を流し、放射線を使って造影剤が流れているところを撮影する検査のことです。血管撮影装置はカテーテル検査を支える装置として、重要な役割を果たしています。

当院の血管撮影室

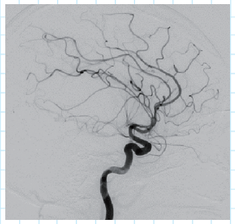
当院では血管撮影装置を4台保有しています（2018年導入のArtis Pheno（ハイブリッド手術室）、2020年導入のAlphenix INFX-8000V、2023年9月・12月に導入のARTIS icono D-Spin）。また、心臓カテーテル検査は月に平均130件程度、腹部アンギオは30件程度、脳アンギオは15件程度の検査・治療を行っています。血管撮影室では医師、看護師、臨床工学技士、診療放射線技師がコミュニケーションを図り、それぞれが持つ専門的な知識や技術を駆使して患者さんに質の高い医療を提供しております。

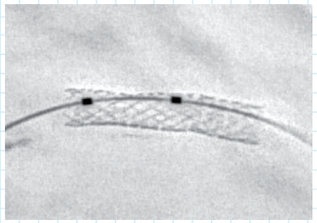
血管撮影装置 ARTIS（アーティス） icono（アイコノ） D-Spin（ディースピン）

検査室

操作室

ARTIS icono D-Spin で撮影した画像

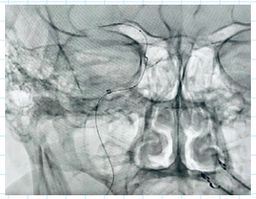




ARTIS icono D-Spin の特徴

01 Live 2K Imaging（ライブ ツーケー イメージング）

大画面表示のさらなる高精細画像を実現するため、透視・撮影ともに2Kイメージングに対応しています。検出器の持つ性能を十分に生かした高分解能画像が実現可能になり、見えやすくなりました。

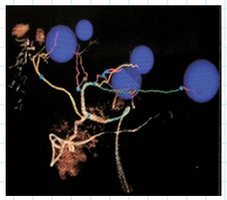


02 syngo（シンゴ） DynaCT（ダイナシーティー） Sine（サイン） Spin（スピン）

従来の三次元回転撮影は、一定軌道回転のみだったため、十分な画像が得られないことがありました。ARTIS icono D-Spin は回転撮影中に頭尾方向の傾斜を加えた軌道回転により、骨の近くの出血などの描出能も向上し、今までより見えやすくなりました。

03 syngo（シンゴ） Embolization（エンボリゼーション） Guidance（ガイダンス）

手術を支援するナビゲーション機能です。三次元データから、腫瘍を指定するだけの簡単な操作で、血管を自動検出します。複雑で微細な血管の選別から治療時のナビゲーションまでサポートすることが可能です。



おわりに

今回導入したARTIS icono D-Spinには多くの機能が追加され、検査で必要とされる、スピード、精度、画質、操作性が向上し、よりスムーズで質の高い検査・治療を患者さんに提供することが可能となりました。診療放射線技術科としても新たな技術に対応し装置を最大限に生かしていけるよう日々努力していきたいと思います。

診療放射線技術科
特殊撮影二課
山﨑 稜大
やまざき・たかひろ

手術後の痛みは我慢しないことが大切です

痛みは体が出す**危険信号**です。我慢しすぎると体に良くないことが起こります。我慢しても傷が早く治ることはありません。痛くなる前に適切なお薬を使って、痛みを「**予防**」していくことをお勧めします。

痛みを予防する利点

- 傷の治りが早く痛みが軽く済みます
- 早く動けることで入院期間は短くなります
- 日常生活への復帰が早くなります
- 慢性的な痛みへの変化の予防ができます
- 不眠を防止し生活バランスが整います

痛みを我慢する欠点

- 呼吸の乱れから傷の治りに必要な酸素や栄養が不足します
- 上手に深呼吸できないため肺炎になる可能性があります
- 高血圧は悪化しホルモンバランスが乱れます
- 慢性的な痛みへと変化し痛みが持続してしまいます
- 日常生活への復帰が遅れてしまいます

痛みは適切なお薬で予防できます
我慢せずに看護師や医師にお伝えください

手術看護認定看護師　船戸 美也子

薬（やく・くすり）に立つ！のあれこれ

File.38 専門薬剤師

1970年代、薬剤師は医師が出す処方せんを調剤するのが主な仕事でした。しかし、医薬分業が進むと共に医療は高度かつ複雑化し、医師をはじめ医療スタッフは、患者さんに最善の治療を提供するために、様々な職種が連携して治療にあたるチーム医療が必要となってきました。薬剤師もこのチーム医療の一員として、医師や看護師とともに臨床の現場に立ち、効果的な薬物治療を行うために専門領域での最新の知識・技能が求められるようになりました。こうして誕生したのが専門・認定薬剤師です。専門・認定薬剤師は、各専門領域の医学や医療の知識、薬物治療の高度な知識や技能を持つ薬のプロフェッショナルです。その医療の場で役立つ最新の薬学的専門情報を医療スタッフに提供し、患者さんへの治療がより効果的で安全に行えるように活躍しています。

専門・認定薬剤師がいる疾患分野

がん●緩和医療●感染症●HIV●腎臓病●糖尿病●骨粗しょう症●リウマチ●褥瘡（じょくそう）（床ずれ）●精神科疾患●妊婦・授乳婦●小児●栄養療法●サプリメント●救急●中毒●禁煙●在宅医療●医薬品情報システム●漢方薬●アンチ・ドーピング　など

次回からは、済生会宇都宮病院で活躍している専門･認定薬剤師について紹介していきます。

薬剤部　副部長　渡部 義和

季節の素材で

医食同源 れしぴ

ネギたっぷり ネギバーグ

冬が旬のネギを使ったレシピです。

材料 【2 人分】

たね

	豚ひき肉	120g
	長ネギ(緑の部分)	30g
	椎茸(いしづきを除く)	30g
	卵	1 個
A	パン粉	大さじ 2
A	牛乳	大さじ 1
A	塩	1g
A	胡椒	少々
A	油	小さじ 1

ソース

B	長ネギ(白い部分)	30g
B	ポン酢	大さじ 1
B	みりん	大さじ 1

【 1人分の栄養価 】
[エネルギー] 266kcal
[塩分] 1.5g

作り方

1. 椎茸を粗みじん切りにする。
2. 長ネギの緑の部分を粗みじん切りにする。白い部分は斜め薄切りにする。
3. ボールに豚ひき肉と A を入れ、手早く混ぜ合わせる。
4. たねを 2 等分にし、空気を抜くようにたたきながら楕円に形作る。たねの真ん中をくぼませる。
5. フライパンに油を入れ、強火で約 1 分軽く焦げ目がつくまで焼く。
6. 裏返してふたをし、弱火で約 7 分焼く。
   爪楊枝などを刺して透明の肉汁が出てきているか確認する。
7. ❻を器に盛り付ける。
8. フライパンに残った肉汁に B を加えてさっと火を通す。
9. ネギバーグの上に❽をかける

おすすめアレンジ
今回のレシピでは、
葉ネギでもおいしく作れます。

医療栄養科 管理栄養士
太田(おおた) 明日香(あすか)

栄養素

ネギに含まれる強い香り成分のアリシンは、ビタミン B1 の吸収を助ける働きがあり、疲労回復効果があるといわれています。豚肉はビタミン B1 が豊富なため、ネギと相性の良い食材です。

SMILE ★★★★★ MEISTER

笑顔のマイスター

第40回

いつも元気に笑顔で働くヒミツを教えてもらうべく、笑顔の「匠」の素顔に迫るコーナーです♪
ここでは、日々の業務や職種についても詳しくご紹介いたします。

今号のマイスターは…

人事課 事務職員 大橋（おおはし） 諒一（りょういち）さん

マイスターにQ&A

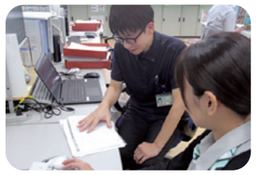
Q. この職種を目指したきっかけは？
A. 医療や福祉分野に興味があり、大学で医療事務について学んだことがきっかけです。

Q. 当院を選んだ理由は？
A. 大学で学んだ知識を活かし、地域に貢献できると感じたため就職を決めました。

Q. 今後の目標・意気込みをどうぞ。
A. 今年から人事課へ異動となり、30代にして0からのスタートですが、課や病院、延いては地域に貢献できるように精一杯がんばります。

Q. 趣味または特技（今はまっていること）はなんですか？
A. 趣味は読書です。漫画もたまに読みます。面白い言い回しや、表現・考え方などを発見できるところが楽しいです。

Q. 尊敬する人は誰ですか？
A. いつも明るく、家族を支えてくれている妻です。



人事課の役割

人事課は「当院に望ましい人材を採用する」「当院に必要な人材に育成する」「人材を適材適所に配置する」「職員が労働力を発揮できるように環境を整備する」の大きく4つの役割を担っています。「職員の労働力を最大限に発揮させ、労働生産性を高めることで、病院理念の実現に貢献すること」をミッション（使命）としています。

業務としては合同就職説明会への参加や試験の実施など職員の「採用」に関すること、人事異動、昇進昇格、委員会やプロジェクトなど「配置・異動」に関すること、職員の研修や人事考課など「育成・教育研修」に関すること、委託・派遣契約や規程の制定・改定など「その他」の業務があります。

私の業務について

主に看護師・助産師といった看護職の採用・異動・退職に関することに携わっていて、募集要項の作成、採用情報の掲載依頼、説明会への参加や見学・インターンシップの実施、採用試験などの業務を行っています。看護師は病院職員の過半数を占めており、病院の運営において重要な業務を担っていることはプレッシャーでもありますが、やりがいも感じています。昨年度までは医事請求課に所属していたため、人事課でのキャリアは短いですが、人事課の先輩方に学びながら日々の業務に取り組んでいます。

仕事をする上で心がけていること

私の担当する業務では看護部の要望を聴き、採用活動や研修に反映させるため、正確なコミュニケーションが必要不可欠です。そのため、細かいことでも確認・相談するように心がけています。

大橋さんのある日のスケジュール

08:30〜09:00	インターンシップ対応
09:00〜09:15	人事課打ち合わせ
10:00〜11:00	就活サイト運営会社とのWeb面談
12:00〜13:00	昼休憩
15:00〜15:30	インターンシップ振り返り会
16:30〜17:30	採用試験

Group photo

人事課の皆さんと
（中央が大橋さん）

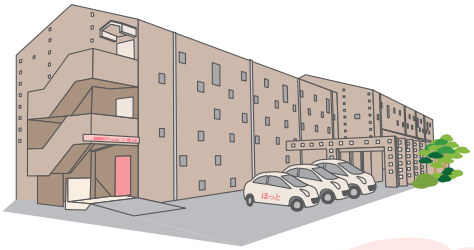
指定居宅サービス事業所・指定居宅介護支援事業所

訪問看護ステーションほっと

ご存知ですか？

所　長　　高橋里栄子 さん
係　長　　山下　美和 さん
ケアマネジャー　石井　康友 さん

に聞きました！



訪問看護ステーションほっとの役割

看護師などが利用者さんのご自宅を訪問し、医師の指示・連携のもと、専門職としての知識と技術をもって医療的なケアを行っています。当施設は、新生児から高齢者まで幅広い年齢の方々に対応しており、比較的医療依存度の高い方に多くご利用いただいています。

“ほっと”名前の由来

ほっと

「安心する、ほっとする。」という意味です。利用者さんに安心してご自宅で過ごしてもらいたい、私たちの支援でほっとしてもらいたいとの意味を込め考えました。

訪問看護サービスの内容

お身体の状態の観察

血圧・体温測定

お散歩・歩行練習

その他、病状をチェックしながら、医療機器の管理、食事・排泄・清潔のサポート、心のサポート、ターミナル（終末期）ケアなどを行っています。

居宅介護支援事業所の役割

ケアマネジャーが利用者さんのご自宅へお伺いして、安心して在宅医療が受けられるよう、また、能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう支援しています。居宅サービス計画書の作成や、介護保険認定申請の手続きなど、お身体の具合や生活の変化に対応し、適切なサービスが受けられるようにお手伝いさせていただきます。

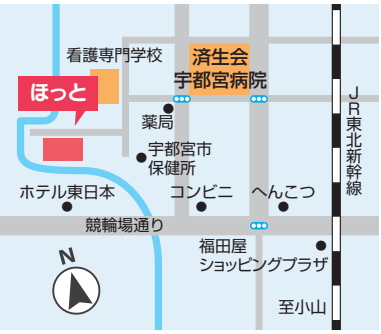
スタッフから一言

日々の業務では、暑さ、寒さなど季節を体いっぱいで感じ、道に迷ったり、犬に吠えられたり、その人の歴史に触れ、家族の温かさに触れ、病院勤務では体験できない多くの体験を通して私たちも成長させていただいています。今後も私たちは、自宅で過ごせる幸せを利用者さんやご家族と共にしながら、笑顔で仕事をしていきたいと思っています。

人材育成に貢献

今年度より栃木県訪問看護教育ステーションとして同行訪問実習などを行い、訪問看護を支える人材育成の役割を担っています。訪問看護に興味のある方、大歓迎です。皆さんも一緒にほっとで働きませんか。

スタッフの皆さん



アクセス

住　所
〒321-0974
栃木県宇都宮市竹林町958

電　話
TEL 028-626-5739
FAX 028-625-8201

＊ 特別養護老人ホームとちのき荘（徳次郎町）内に“ほっと出張所”があります。

みやのわ 情報局

10月 つなサポ相談会を実施しました！

出張相談会の様子

10月6日、宇都宮市つながりサポート女性支援事業の一環で、姿川地区市民センターにおいて、女性のための出張相談会を開催し、当院MSW※が、50名の来場者に対して様々な相談に対応しました。当日は、同時間帯に市の乳幼児健診が行われていたため、子育て真っ最中の方が多く訪れ、事前に相談会の開催告知をしていたインスタグラムを見て来られた方も多く見受けられました。今後も、宇都宮市の重層的支援体制整備事業の各担当者と連携し、生活の立て直しや就労支援、必要な医療が受けられるよう支援していく予定です。

※医療ソーシャルワーカー

11月 防災・救急フェアに当院も協力しました！

防災・救急フェアの様子

11月18日、自動車ディーラー・栃木トヨタ自動車が開いた、防災活動や救急活動の大切さを親子で体験しながら学べる「防災・救急フェア」が、ミナテラスとちぎで開かれ、当院もイベントに協力しました。当院は救急医・救急救命士がドクターカーの役割や機能などについて説明する見学ツアーを行い、普段入れない内部を見た参加者は、真剣な表情で耳を傾けていました。その他、停電時に車から給電ができる電源供給システムの展示や、高所作業車に乗る体験などが行われ、イベントは大盛況で幕を閉じました。

各種市民公開講座を開催しました！

近年は感染対策のため、従来の形での院内開催を見送る状況が続いていましたが、今年度は様々なイベントを開催することができました。9月30日は、脳卒中の予防や治療、退院後の生活指導などを学ぶ「NO! 卒中」、10月28日は認知症についての理解を深める「認知症を学ぼう」、12月8日からは「いきいきエンジョイ！糖尿病ライフ」をオンデマンド配信しています。当院では、地域の皆さまが医療について楽しく学ぶことができる公開講座を企画しています。医師や認定看護師、薬剤師、理学療法士、MSWなど各職種の専門的なお話を聞くことができる機会となっていますので、最新情報は当院HPをご確認ください。

NO！卒中

認知症を学ぼう

いきいきエンジョイ！糖尿病ライフ

当院の直近3カ月の診療実績

	令和5年9月	令和5年10月	令和5年11月
延外来患者数	30,696人	31,337人	30,489人
実入院患者数	1,339人	1,436人	1,352人
平均在院日数	12.1日	11.9日	12.0日
救命救急センター患者数	1,203人	1,251人	1,196人
救急車台数	701台	692台	732台
手術件数	588件	647件	606件

オンライン資格確認に関するお知らせ

当院では保険証・マイナンバーカードどちらの確認でも、窓口負担は同一料金です。

※医療情報・システム基盤整備体制充実加算を算定していないため。

なお、当院では総合受付①(初診窓口)及び救急受付(西口)にオンライン資格確認の端末を設置しています。ご利用の際は受付スタッフにお声かけください。

一般外来診療のご案内

受付時間 8:30 ～ 11:00

(一部、受付時間が異なる診療科がございます)

休診日 日曜・祝日・第2土曜
創立記念休日(6月第2月曜)
年末年始(12/29～1/3)

※当院を初診で受診する際は、まず、かかりつけ医を受診し、専門的な治療や検査または入院などが必要とされた場合に、紹介状を持参していただきますようお願いいたします。初診時に紹介状がない場合には、選定療養費7,700円(税込)をお支払いいただくことになりますので、ご理解のほどお願いいたします。

栃木県からのおしらせ
救急電話相談のご案内

子どもの救急電話相談(概ね15歳未満の方)

☎028-600-0099　局番なしの #8000
月～土　午後 6:00 ～翌朝 8:00
日祝日　午前 8:00 ～翌朝 8:00(24 時間)

大人の救急電話相談(概ね15歳以上の方)

☎028-623-3344　局番なしの #7111
月～金　午後 6:00 ～午後 10:00
土日祝　午後 4:00 ～午後 10:00

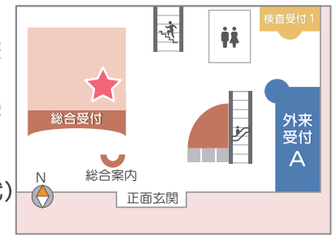
急な病気やケガなどで心配な時にご利用ください。経験豊富な看護師が家庭での対処法や、救急医療の受診の目安などをアドバイスします。

がん相談支援センター
医療相談・看護相談室のご案内

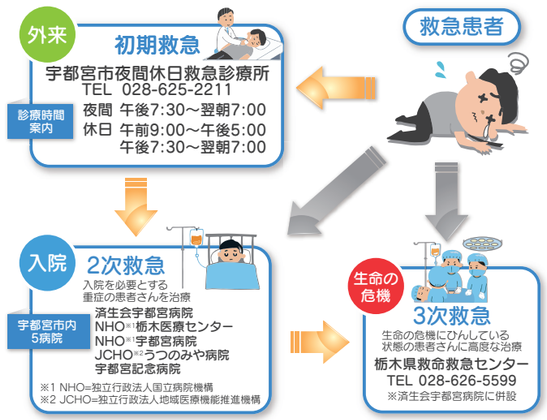
がんの診断を受けた患者さんやそのご家族に対し、専門のスタッフ(専門・認定看護師、医療ソーシャルワーカー)がサポートいたします。「がんと言われて辛い…」「こんな時どうしたらいいの…」「今後のことを考えたい…」「誰かに聞いてもらいたい…」こういった不安やお困りのことがありましたら、どうぞお立ち寄りください。

当院は、「地域がん診療連携拠点病院」です。
電話と面談による相談をお受けしております。

☎028-626-5500(代)
【内線】3245



栃木県からのおしらせ
救急医療体制のおしらせ



リレーエッセイ

院長
野間　重孝

新年のご挨拶

皆さま、明けましておめでとうございます。

昨年もいろいろなことがあった年でした。しかし何といっても5月8日にコロナ感染症が5類に引き下げられたことを挙げなければならないでしょう。だからといって順調に流行が収ったという訳ではありませんでしたが、それでも9月以降は順調に感染者数が減少しており、一応胸をなで下ろしているところです。

そんな中、7月3日、当院の主催(当番)で4年ぶりに済生会関東ブロック親善ソフトボール大会が柳田緑地ソフトボール場で開催されました。当院は惜しくも準優勝でしたが、久しぶりの多数施設の集合に沸き立ちました。やはりいいものですね。ちなみに来年は当院が全国大会の主幹を務める予定となっております。

その他皆さまがあまりご存じないものまで含めて昨年の出来事を列挙しますと、敷地内薬局の開設(4月)、職員駐車場増設(4月)、病院機能評価最終結果発表(4月)、紹介受診医療機関指定(7月)、第7回ブラックジャックセミナー(8月)、広報アワード受賞(9月)などが挙げられます。こうしてみると随分いろいろなことがあったのだと、今更ながら感慨に浸ってしまいます。特に機能評価で大変高い点数を取れたこと、看護師募集のためのホームページを改修して広報アワードを受賞できたことなどは、大変に喜ばしいことでした。

現在当院が取り組んでいることをご紹介しますと、内視鏡室の改修、看護宿舎新築、医局改修、多床室の準個室化などのインフラ整備に加え、電子カルテ更新、生殖医療の再開などがあげられます。こうした試みを成功させるためにも、従来進めてきたコスト削減、人材確保・育成が大変重要な役割を果たすと考えています。これらは病院の正式の取り組みですが、もっと身近なところで皆さまに当院がこんなことにもっと取り組んだ方がよいのではないかというお考えがありましたら、是非「患者さんの声BOX」にご投稿ください。

本年が皆さまにとって良い年でありますよう、心よりお祈りいたしております。また最後になりますが、世界に目をやりますと、ウクライナ、中東の紛争が収る気配をみせません。一刻も早く平和が訪れますことを強く祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

編集後記　みやのわ　編集スタッフの わ

新年あけましておめでとうございます。今年も済生会宇都宮病院をよろしくお願いいたします。

昨年を振り返ってみますと、新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが、5月から季節性インフルエンザと同じ「5類」に移行しましたね。法律に基づいた外出自粛の要請などはなくなり、感染対策は個人の判断にゆだねられ、3年余り続く国のコロナ対策は大きな節目を迎えました。

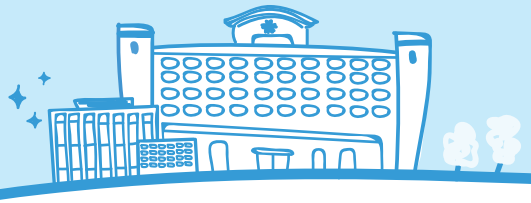
私も何年かぶりに県外旅行をすることができました。皆さまも久々の遠出や旅行を楽しむことができたのではないでしょうか。

最後になりますが、まだまだ寒い日が続きますので、体調管理には十分に気をつけてお過ごしください。皆さまにとってより良い1年になりますように。

ちょこっとメモ　2月3日

節分

毎年、立春の前日に行われる季節行事で、邪気を祓い無病息災を願います。豆まきや恵方巻きなど日本人にとって馴染みの深い風習ですが、その由来は中国から伝わった追儺(ついな)や鬼遣(おにやらい)といった宮中行事とされています。季節の変わり目に邪気が入り込むと考えられていたため、豆をまいて鬼を追い払うことで邪気を祓い、無病息災を願う行事として定着しました。行事の由来とされる中国の歳事は、元々一年の変わり目である十二月の歳事でしたが、やがて季節の分かれ目である節分(立春・立夏・立秋・立冬の前日)の中でも立春の前日に行われるようになりました。



Rights & Responsibility

当院における患者さんの権利と責任

患者さんの権利　Rights

1. 個人として尊重され、適切な医療を受けること。
2. 病気や治療の内容、および回復の可能性について、わかりやすい言葉や方法で説明を受けること。
3. 手術や検査など重大な診療行為を受けるかどうかの判断に、必要かつ十分な説明を受けること。
4. 治療方針の決定に主体的に参加し、自分の意思で治療を受けるかどうかを決定すること。
5. 痛みを和らげるために、原因に応じた適切な治療、ケアを受けること。
6. 人生会議の内容が尊重され、適切な治療、ケアを受けること。
7. 他施設の医師に意見(いわゆるセカンドオピニオン)を求めること。
8. 医療に関する個人情報は保護されプライバシーが守られること。
9. 治療を継続するために、適切な医療機関の紹介を受けること。
10. カルテ開示を求めること。
11. 会計の内容について説明を受けること。
12. 治療に納得がいかない場合は、自分の意思で退院すること。
13. 診療行為において事故が発生した場合は、その内容を事実に基づいて、可能な限り詳細に説明を受けること。

患者さんの責任　Responsibility

1. ご自身の病状について正確に話していただくこと。
2. ご自身の病気や医療行為の経過について気になる点があれば、スタッフに申し出ていただくこと。
3. 同意された治療を受けるにあたっては、医療スタッフの計画や指示に基づき、療養していただくこと。
4. 治療を受けない選択をされた場合、または医師の指示に応じない場合、それにより生じる医療上の問題には、ご自身の責任で対応していただくこと。
5. 受けた医療に関する支払いには、速やかに応じていただくこと。
6. 当院での入院治療が終了した場合には、医師の指示に基づき、速やかに退院または転院していただくこと。
7. 他の患者さんや医療スタッフへの迷惑行為(大声、威嚇、暴言、医療行為の強要など)は行わないこと。
8. 敷地内では禁煙していただくこと。
9. 面会時間、電子機器の取り扱いなど、院内の規則を守っていただくこと。

理　念

思いやりのある　安全で質の高い医療を提供し　地域社会に貢献します

基本方針

1. 患者中心の医療
患者さんの権利を尊重し、満足度の高い医療を提供します。

2. 医療の質・安全
安全で質の高い医療を提供し、信頼される病院を目指します。

3. 地域貢献
地域医療福祉機関との連携、予防医学の推進により、地域社会へ貢献します。

4. 救急・急性期・高度医療
地域基幹病院として救急・急性期・高度医療を提供します。

5. 職場環境
働きがいを感じることができる職場環境をつくります。

6. チーム医療
職種間連携を強化し、チーム医療を推進します。

7. 人材育成
地域医療のリーダーシップを担う人材を育成します。

8. 健全経営
医療資源を最大に活用し、健全な病院経営に努めます。

社会福祉法人　Saiseikai Utsunomiya Hospital
恩賜財団 済生会宇都宮病院

www.saimiya.com/

当院は日本医療機能評価機構認定病院です

令和6年1月発行　第82号　編集／院外報企画編集委員会　〒321-0974 宇都宮市竹林町911-1　TEL 028-626-5500（代）